

# 第2章

## 港北区地域福祉保健計画の内容

### 推進の柱と具体的な取組

#### 基本理念

### 誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北





## 推進の柱 1

理解と参加のひろがりによる活発な地域づくり

# [ひろがる]

世代を超えて理解と参加を促し、活発で持続可能な地域づくりを進めます。

自治会町内会をはじめとする地域活動において、担い手不足や参加者の減少が課題となっています。多くの人々が地域活動を知り、参加することにより魅力や必要性の理解が進み、地域活動を行う人が現れるといった好循環を生み出していく必要があります。

港北区は子どもや子育て世帯が多いのが特徴となっています。未来を担う子どもたちや親の世代と地域のつながりをつくり、子どもや青少年の健全育成のために地域としてできる支援を行っていきます。あわせて世代間交流を進め、地域の活性化を図ります。

### 検討部会・ヒアリングでの意見

- ・情報の届き方にはまだまだ課題がある。
- ・ホームページや SNS で情報収集している親が多いので情報発信は頻繁にあると良い。
- ・地域活動のメリットを伝え、参加を増やしたい。
- ・若い世代にとって魅力的なものを提供しながら、将来は地域活動を担ってもらえるように今から考える必要がある。
- ・ボランティアへの評価が何らかの形で制度化されると良い。
- ・子育て支援は出産後のイメージがあるが、妊婦の時期から必要。
- ・保育園のお散歩の途中に子どもたちと立ち話をするような方は何人もいるが、そういうことがもっと頻繁にできると良い。

## 重点目標 1

# 幅広い住民の地域活動への参加促進

### 目指す姿

地域活動について理解が進み、  
多くの人に参加する住民主体の  
活動が活発に行われている。

## 推 進

### 自分や家族 でできること

- ・自治会町内会の活動を知り、参加してみましよう。
- ・趣味やボランティア等の地域活動に参加しましよう。
- ・普段の生活のなかで気付いたことや要望を伝えあいましよう。
- ・自分自身の経験や専門知識を、地域活動やボランティア活動に生かしましよう。

### 地域や仲間 同士 でできること

- ・広報や ICT を活用して地域活動の情報を発信しましよう。
- ・誰でも参加できるバリアフリーな行事を企画しましよう。

### 公的機関等 が行うこと

- ・地域活動の魅力を発信します。
- ・多様なスキルを持った人材と地域活動団体との連携を進めます。
- ・ボランティアの育成と活動支援を行います。
- ・多様な地域活動団体と企業、施設、法人等のネットワークづくりを支援します。

## 公的機関等の取組例

### ◆ ボランティアセンター、区民活動支援センターによる情報発信

地域活動についての様々な支援や、情報提供を行っています。「地域活動をしたい人」「ボランティアを求めている人」からの相談を受け、地域活動の担い手・受け手がより良い方向につながるよう、橋渡しをしています。

### ◆ スマートフォンのアプリ等による情報配信

オープンデータを活用した子育て情報通知アプリ（ココアプリ）を共同開発（岩崎学園情報科学専門学校・地域子育て支援拠点どろっぴ・区役所）し、子育て世代に向けて情報発信しています。また、区連合町内会ホームページの充実やピアッツァ（地域 SNS アプリ）を活用した情報発信・交換により、幅広い地域活動を活性化しています。

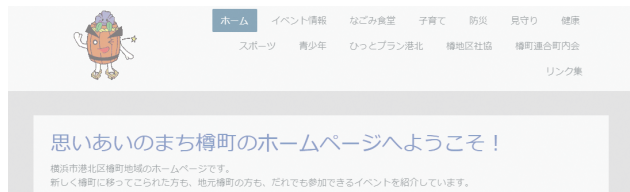


# 地域活動の取組事例

## いろいろな方に活動を知ってもらおう 「樽町情報部会」

樽町地区

地域の情報をワンストップで共有することを目指して活動しており、ホームページ「思いあいのまち樽町」で情報発信しています。メンバー全員が、ホームページの更新作業ができる体制をつくっており、更新の頻度がとても高く、アクセス数も伸びています。内容としては、イベントの告知や開催報告に加え、防災活動、樽町の歴史などが掲載されています。また、紙媒体での「イベント掲示板」は、年2回作成して戸別配布を行っており、あらゆる世代に地域の情報を届けられるように活動しています。



2020年4月～9月  
樽町イベント掲示板  
思いあいのまち樽町

最新の情報はこちら  
QRコードから 検索欄から

特集記事【1/19(日)第35回港北駅伝大会】樽町HPのブログ記事から

4月  
イベントの内容は変更になる場合がございます。ご参加の前に必ず各自でご確認ください。  
※参加費の記載がないものは、無料です。

イベント名	日時・場所	内容	参加対象	問い合わせ
大瀬中学校入学式 新開中学校入学式	4(6)月 午前 各中学校	各中学校の入学式	保護者 地域代表者	大瀬中学校 0542-1783 新開中学校 0542-2805
樽町中学校入学式	4(6)月 午後 樽町中学校	樽町中学校の入学式	保護者 地域代表者	樽町中学校 0542-8776
樽町マタタツ大会	4(29)日 8:00～15:00 樽町山陽町公園 ※雨天は10日(日)延期	カーリングに似たスポーツでも楽しめる。春の男女マタタツ大会。楽しみましょう。	各町内会、自治会等 入会・少人数会員 で参加します	

5月

イベント名	日時・場所	内容	参加対象	問い合わせ
どなたでも	5月の週末 市内に開催予定です。	樽町地区のウォーキングを楽しみましょう。 ※参加費、服装、行装は印と参加費でお知らせします。	どなたでも	樽町地区保健活動推進員
樽町中学校体育大会	5(30)土 樽町中学校	樽町中学校の運動会	保護者 地域代表者	樽町中学校 0542-8776

6月

イベント名	日時・場所	内容	参加対象	問い合わせ
たるまち芸術祭	6(4)土～6(13)土 10:00～12:00 樽町地区クラブ	作品展・6(4)土～6(13)土 サークル運動会(雨天決行)	どなたでも	樽町地区クラブ 0532-2901
樽町子ども会 夏の交流会	6(4)土の夜 19時～23時頃 樽町自由地会館	みんなでゲームを楽しんで カレーライスを食べます。	樽町各小学校	樽町子ども会 kodomo@hmmw-aki.co.jp

「思いあいのまち樽町 イベント掲示板」は、  
港北区 地域のチカラ応援事業の助成を受けて発行しています。

ツイッターでも情報発信中！

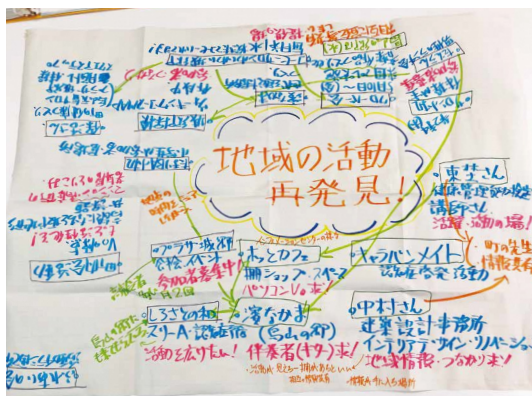
第2章

港北区地域福祉保健計画の内容

## 地域と活動団体のゆるやかな繋がりがづくり 「つながりプロジェクト」～地域活性化分科会の取組～

城郷地区

城郷地区では、3つの分科会で地区計画を進めています。そのうちの一つ、地域活性化分科会では、自分たちが住む地域をより住み良いものへ、また、充実したものにするために「つながりプロジェクト」を開催しました。活動団体間での名刺交換をはじめ、地域の活動を再発見するワークショップの開催、活動の情報共有やノウハウをお互いに学びあう機会として開催しています。参加団体の中から「コラボ」が生まれ、さらに交流を深めるなどの成果が現れてきています。今後も地域活動のネットワーク化を進め、更に幅広い地域活動のひろがりを進めていきます。



# 未来を担う次世代育成

### 目指す姿

地域活動に参加する子どもや子育て世帯が増え、家庭、地域、学校が連携して町ぐるみで子どもや子育て世帯を支えている。

## 推 進

### 自分や家族 でできること

- ・子どもの頃から地域とつながる大切さを伝えましょう。
- ・子どもと一緒に地域の活動に参加しましょう。
- ・子育ての情報を収集し、地域で行われている様々な支援を活用しましょう。

### 地域や仲間 同士 でできること

- ・地域ぐるみで子どもを見守る体制をつくりましょう。
- ・子育て世帯の地域に対する愛着を育て、様々な経験ができる機会や場をつくりましょう。
- ・世代間の交流ができる機会をつくりましょう。

### 公的機関等 が行うこと

- ・子育て支援に関わる人材の育成と関係機関のネットワークを強化し、あたたかい子育て環境づくりを進めます。
- ・地域活動への理解促進と福祉教育の充実に取り組み、次世代育成を進めます。

## 公的機関等の取組例

### ◆ 子育てを見守る風土づくり

横浜市子育てサポートシステムは、安心して子育てができるよう、地域ぐるみの子育て支援や仕事と育児を両立できる環境を作ることを目的とした有償の支えあい活動です。

### ◆ 小中学生からの福祉を考える機会づくり

小中学校では、高齢者や障害者等の当事者から話を聞き、一緒に活動することによって理解を深める福祉教育を実施しています。また、夏季休暇中の「ボラリーグ★こうほく」では、福祉施設やボランティア団体での活動体験を行っています。



## 地域活動の取組事例

### 綱島を子どもたちの「ふるさと」に 「子育て支援ネットワーク会議」

綱島地区

綱島地区のひっとプラン「子育て支援部会」が中心となった取組です。

地域情報誌『つなしま子育て地域情報』の作成や配布、親子向けの催しを開催し、子育て世代への情報提供や啓発に努めています。また、年1回開催しているネットワーク会議では、地域の保育園を交え、テーマごとに子育ての現場と地域それぞれの視点から見た課題について意見を交わすことで連携した取組が広がっています。



綱島スポーツフェスティバルで行われた「交通安全教室」

2019年度 つなしま子育て地域情報

この度、ひっとプラン綱島地区子育て支援ネットワークにおいて、綱島地区の子育てに役立つ地域の情報をまとめました。子ども達が綱島地区で楽しく過ごすためにご家庭でご活用ください。  
※綱島地区の子育てを支援するために、地域で子育て支援に関わる団体・市区役所、区社会福祉協議会、練野地域ケアプラザで構成するネットワークです。

詳しくは、綱島連合町内会HPまたは、綱島商店街HPを参照

イベント名	日時	場所
綱島「夜店」	6/29 (土)・6/30 (日)	綱島駅前周辺一帯
サマーフェスティバル	7/6 (土)・7/7 (日)	イトーヨーカ堂前
東郷和盛祭り	7/13 (土)・7/14 (日)	東郷和子ども広場
北つな夏まつり	7/27 (土)・休場日7/28 (日)	北綱島小学校
ナイトフリーマーケット	7/27 (土)	綱島駅前周辺一帯
綱島子どもももろ大会	7/27 (土)・7/28 (日)	綱島小学校
親友会盛盛り	8/23 (金)・8/24 (土)	栗3丁目公園
羅針館お祭り	8/24 (土)・8/25 (日)	
綱島3デイズフェスティバル	10/13 (日)・休場日10/14 (月)	綱島小学校
秋まつり	2020年3月中旬	市民の森緑の里広場
まくらまつり	2020年3月中旬	綱島公園

詳しくは、コマツアで検索

公園名称	住所	備考
綱島公園	綱島台1	トイレ・遊具等あり

子育てに役立つ情報が満載の「つなしま子育て地域情報」

### 地域ぐるみで子育て支援 ～子育てサロンよしだっこ～

新吉田地区



地区計画の取組の一つとして平成24年に立ち上がりました。以降、地区の主任児童委員と民生委員・児童委員、地域の方が中心となって、親子で楽しめる手遊びや紙芝居、季節のイベント等を行ってきました。

新型コロナウイルスの影響でイベント等が次々と中止になり、親子で出かけられる場が少なくなっていく中、よしだっこではYoutubeを使って手遊びやおもちゃ作りの動画を配信することにしました。誰もが大変な状況下でも、子育て中のパパ・ママや子どもたちを見守り支えていこうという地域の取組です。

## 推進の柱 2

### 人のつながりで進める安心なまちづくり

# [つながる]

住民同士の交流と多様性の理解を進め、健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

単身世帯の増加などから、近隣関係が希薄化しています。一方で、災害の頻発や高齢者世帯の増加などから、近隣とのつながりの大切さが再認識されてきています。地域で交流し、同じ地域で暮らす仲間という意識を育むことが地域の支えあいの基盤になります。地域のつながりをつくっていくための様々な仕掛けや場を設けていくことが必要です。

また、地域には様々な人が住んでいます。年齢や障害の有無にかかわらず地域社会に参加できるよう、多様性の理解を進め、誰でも参加できる機会を増やしていくことが必要です。

あわせて、住民一人ひとりが健康づくりや地域とつながる重要性を理解し、自分の能力を活かしながらできるだけ長く自立して暮らせるよう、健康づくりの取組や環境づくりを進めます。

## 検討部会・ヒアリングでの意見

- ・地域との顔のつながり、信頼関係の構築のために、新たに場面を作るというより今あるものをうまくいかしていければ。
- ・ゴミ出しで見覚えのない人がいるような時に、声掛けできるような地域の風土を作っていけると良い。
- ・助けあい活動は、隣近所など近いところでの仕組みづくりが大切。
- ・保育施設が増えている中で、地域の会議に参加ができたり、地域の保育所同士で話し合いができると良い。
- ・高齢者施設を身近に感じてもらうために健康講座を実施している。施設と地域との連携を深めていきたい。
- ・多世代交流のサロンがあると良い。



## 重点目標 1

# 人と人とのつながりづくり

### 目指す姿

地域のつながりの大切さが理解され、交流の場づくりが進み、地域の居場所が増えている。

## 推進

### 自分や家族 でできること

- ・お住まいの地域で声をかけあえる知り合いをつくりましょう。
- ・趣味や運動などの活動に積極的に参加しましょう。

### 地域や仲間 同士 でできること

- ・地域の人同士がふれあう場、機会をつくりましょう。
- ・地域活動団体が互いに、または地域の施設と協力・連携する取組を進めましょう。

### 公的機関等 が行うこと

- ・つながりの大切さについて啓発を進めます。
- ・地域とつながりを持ちにくい方への働きかけを行います。
- ・地域活動団体の取組や活動の創出を支援します。

## 公的機関等の取組例

### ◆ 補助金や助成金による活動支援

区民による自発的な、非営利の地域福祉活動を支援するため、集いの場づくりや地域課題の解決に向けた取組に対して、区役所や区社協では助成を行っています。

### ◆ 地域ケアプラザにおける地域住民の交流の場づくり

介護予防や趣味など様々なテーマ、定年退職した方や子どもなど様々な対象者向けの講座を実施しています。また、お祭り・イベント・交流会等を開催することにより、地域住民のつながりづくりを支援しています。

### ◆ 地域での高齢者の見守り推進

75歳以上のひとり暮らし高齢者等について、民生委員や地域包括支援センターが状況を把握し、相談を受けたり、地域における見守り活動につなげる等の支援をしています。



## 地域活動の取組事例

### みんなが集える身近な居場所 「もろおか里山倶楽部」

師岡地区

師岡地区の師岡町会館は地域の様々な活動の拠点として、たくさんの住民に活用されています。しかし、師岡町会館から少し離れた地域に住む方々がより足を運びやすく、ひとり暮らしの高齢者等が気軽に集えるような場所があればと、空き家を活用した居場所づくりに取り組みました。

オープン後は学校から帰ってきた子どもたちが集まり、宿題をしたり居場所に来ている方々とのおしゃべりを楽しんでいくこともあります。これからも喫茶や貸しスペース、住民向け講座、手作り作品展など様々な催しを行いながら、みんながつながる交流拠点づくりを進めていきます。



### みどりの輪 きたにっば

新羽地区

北新羽町内会エリアで、高齢者の社会参加や生活支援について考える会です。北新羽町にお住まいの方ならどなたでも参加できます。活動には新羽町連合町内会、北新羽町内会、北新羽のぞみ会、地域ケアプラザ、特別養護老人ホームニューバード等の地域の団体や施設が協力して取り組んでいます。イベントとしては、ニューバードを会場に施設の入所者や地域の方々に向けて「落語の講演会」や「手品の披露会」等を行いました。手品の回ではオハナ保育園の園児も参加し、地域住民のつながりを深める世代間交流の場にもなっています。





## 重点目標 2

# 年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが参加できる場づくり

### 目指す姿

高齢者、障害者を含め誰もが参加できる機会が増え、社会参加につながっていると同時に、交流や相互理解が進んでいる。

## 推進

### 自分や家族 でできること

- ・地域の行事へ積極的に参加しましょう。
- ・悩みを共有できる仲間をつくり、思いを伝えましょう。

### 地域や仲間 同士 でできること

- ・地域で一人ひとりが活躍できる場をつくりましょう。
- ・福祉施設と協働した交流の機会をつくりましょう。
- ・誰でも参加できるバリアフリーな地域行事を企画しましょう。

### 公的機関等 が行うこと

- ・障害や病気をはじめ、多様な個性を理解するための働きかけを行います。
- ・年齢や障害の有無に関わらず、個人のやる気や能力に応じて活躍できる機会づくりを支援します。

## 公的機関等の取組例

### ◆「障害者セーフティネット分科会」（区社協）による障害児者への理解の啓発

障害者団体・支援団体・ボランティア団体等が参加し、地域で障害児者を支える活動の情報収集および発信を行っています。また、地域防災拠点訓練への障害者の参加や障害啓発プログラムの実施を通じて啓発活動を行っています。

### ◆ 認知症に対する理解の啓発

認知症に関する講演会や学校・地域・民間企業等での認知症サポーター養成講座の開催により、幅広い世代へ認知症の理解が深まり、地域での見守り体制が進むよう支援しています。また、認知症になっても本人や家族が地域とつながり、安心して過ごすことができるよう、情報交換や相談を行う場である認知症カフェや介護者のつどいの活動を支援しています。

## 地域活動の取組事例

### 個別支援学級の子どもたちが地域で過ごす居場所「とも・とも篠原」 ～道で会った時にあいさつしあえる関係づくり～

篠原地区

個別支援学級に通う子どもの母親からの相談がきっかけで始まった居場所づくりの取組です。「道で会った時にあいさつしあえる関係づくり」を目的としており、地区計画メンバーとボランティアの協力により、地域ケアプラザでの工作や料理づくり、岸根公園での運動などのプログラムを月1回実施しています。最初は親の後ろに隠れてしまう子どももいて、接し方についてのスタッフの打合せにも熱が入ります。「一人の困りごとは、みんなの困りごともしれない」と、一つの気づきがこの活動を作り、つながりの場となっています。



### 認知症予防・応援 日吉宮前地区「宮前交流カフェ」

日吉地区

軽度の認知症状のある方や家族が地域で安心して暮らしていけるように、地域とつながり孤立しないための交流の場が作られました。認知症になっても、住み慣れた地域で友人や知人と一緒に楽しい時間を過ごせるように、アットホームな雰囲気づくりを目指しています。ミニ講座では、様々な講師の方を招いて皆で勉強したり、季節のイベントや体操、身体を動かすプログラムなどを行っています。プログラム後は、お茶とお菓子を食べながらゆっくりくつろぎます。月1回、どなたでも参加できるカフェが地域のつながりをつくっています。





## 地域活動の取組事例

### 障害のある子どもたちの放課後の居場所 「しろさと地区放課後プラザ」

城郷地区

障害のある子どもたちの居場所を作りたい。その思いで始まった放課後の居場所づくり。地区に在住・在学で、特別支援学校や個別支援学級に通う中学生までの子どもたちを対象に、毎月2回開催しています。ゲームやおやつ作りなど、子どももボランティアの大人たちも笑顔あふれる時間です。子育てに悩む保護者がちょっと話せる場にもなっています。卒業後、施設に通うようになって、通所の付き添いを頼まれたりすることもあります。子どもの頃からお互いに知っているからこそ関係が作られているのも特徴です。地元で根付いた活動の裾野がひろがっています。



## 重点目標 3

# 健康寿命を延ばす取組の推進

### 目指す姿

健康づくりやつながりづくりの大切さへの理解が深まり、身近な地域で健康づくりを行う場が増えている。

## 推 進

### 自分や家族 でできること

- ・ウォーキングや体操などの運動、適切な食生活の維持など健康づくりに取り組みましょう。
- ・外出し、他者との交流の機会をもちましょう。

### 地域や仲間 同士 でできること

- ・身近な場所で交流しながらできる健康づくり活動、介護予防活動を実施しましょう。
- ・世代間の交流ができる機会をつくりましょう。

### 公的機関等 が行うこと

- ・健康づくりの関心を高める仕掛けづくり、介護予防のための場や機会を増やします。
- ・保健活動推進員や食生活等改善推進員による自主的な健康づくり活動を支援します。
- ・幅広い世代への食育活動を推進します。

## 公的機関等の取組例

### ◆ ウォーキングの取組啓発を通じた健康づくりの推進

ウォーキングをきっかけにした健康づくりを推進するため、ウォーキングの楽しさや魅力をPRし、健康ウォーキングを各地で開催しています。

### ◆ 身近な通いの場での介護予防

元気づくりステーション等、高齢者が歩いていける身近な場所で、仲間と一緒に介護予防や健康づくりに取り組むグループ活動を支援しています。

### ◆ ヘルシープロモーションによる食育の推進

6月の食育月間にあわせ、区内で行われている食育に関する活動紹介のほか、胃・大腸がんに関するパネル展示やクイズラリーを実施しています。



## 地域活動の取組事例

### ひとりじゃ つまらん ともだちつくろう 「健康づくり部会の取組」

新吉田地区

「ひっとプランの『ひっと』って何？ひとりじゃ、つまらん、ともだちつくろう、じゃないの？」。健康づくり部会に参加していた町内会長から飛び出たジョークでした。その言葉は健康づくり部会で取り組んでいる「やすらぎ塾」の活動をわかりやすく表すもので、みんな大笑い。

この取組を始めたきっかけは、一人で過ごしている男性が地域にはきっといるはず。そうした方に参加してもらい、健康づくりと友だちづくりをしてほしいという思いからでした。ひっとの二つの意味を胸に、健康づくりのための取組は続きます。



### 健康づくり部会 月例ウォーキング

新羽地区

ひっとプラン健康づくり部会と保健活動推進員が主催となり、毎月第1木曜日に実施しているウォーキングです。季節やイベントに合わせて企画されたコースを周遊します。3時間ほどの行程は、歩数計で見返すとびっくりするほどの距離になりますが、楽しくおしゃべりしながら歩いているとあっという間です。健康づくりだけでなく地域住民のつながりづくりの場にもなっています。



### 推進の柱 3

## 支援がとどく仕組みづくり

# [とどく]

必要とする人に的確に支援が届く仕組みづくりや、災害時に必要な人に適切に支援が届くような環境整備を進めます。

単身や二人世帯などの規模の小さい世帯が増え、家族による支援や見守りが難しくなってきています。また、地域のつながりも希薄になっています。今後もこのような傾向が続くと予想され、支援の手が届かない人が増える可能性があります。

支援が必要な人を確実に把握し、適切な情報や支援を届けていく仕組みの構築を進めていくことが必要です。

また、日頃から住民同士の顔の見える関係や支援の仕組みをつくり、災害時に必要な人に適切に支援が届く環境整備を進めます。

### 検討部会・ヒアリングでの意見

- ・自治会や包括支援センターなど、様々なところと関わることはすごく大事。
- ・支援が必要な方と地域が繋がるには、困っている方自身の発信も必要。
- ・自分から出て行くことが難しいので、声掛けやきっかけがあると嬉しいと思う。
- ・障害者等も支援されるだけでなく、支援者として互いに支えあえる仕組みづくりができればと思う。
- ・障害がある方のみならず、手助けが必要な方を支えていく地域ができるといい。
- ・緊急時も含め、やはり近所の方の理解がないといけない。実際に関わっていただく機会を作ることは大切。
- ・重症心身障害児は寝たきりということもあり、避難所では人より多くのスペースが必要になることも理解してもらいたい。



## 重点目標 1

# 支援が必要な方を発見し支援につなげる仕組みづくり

目指す姿

日頃から見守り、支えあいの活動が行われ、いざという時に支援につなげられる仕組みができています。

## 推進

### 自分や家族 でできること

- ・地域に声をかけあえる知り合いをつくっておきましょう。
- ・困ったときの相談先を把握し、必要な時はためらわずに連絡しましょう。

### 地域や仲間 同士 でできること

- ・要援護者を理解し、対応を学びましょう。
- ・近隣の方の異変に気づいたら、地域の身近な相談機関に相談しましょう。
- ・日常的に見守る体制をつくりましょう。

### 公的機関等 が行うこと

- ・医療・福祉・教育関係者とともに、認知症や障害の理解、虐待予防の普及啓発に取り組みます。
- ・住み慣れた地域で自分らしい生活ができるよう、包括的な支援、サービス提供の仕組みを強化します。
- ・民生委員・児童委員やボランティアが活動しやすい環境をつくります。
- ・法律専門職のサポートも得つつ権利擁護を進めます。

## 公的機関等の取組例

### ◆ 生活困窮者への自立支援

「なかなか仕事が見つからない」「家計のやりくりで悩んでいる」等の様々な事情により生活にお困りの方が周囲から孤立することなく安定した生活が送れるよう、個人の状況に応じた包括的な支援を行っています。

### ◆ 高齢者、障害者等の権利擁護の推進

成年後見制度等の権利擁護を必要とする人に対し、課題の整理・今後の支援方針についての助言を行うため、よこはま成年後見推進センターと連携していきます。また、エンディングノート等を活用して自己決定の実現に向けた取組を進めます。



## 地域活動の取組事例

### 「ささえあいネットワークの会」で広がる見守りの輪 大曽根地区

年に2回行われている「ささえあいネットワークの会」は、地域の住民が集まり、前半に講座を通じた学びあい、後半に情報交換をしています。情報交換では町内会ごとに民生委員・児童委員の進行で、参加者それぞれが地域の状況や変化、気になっていること等を話していきます。「最近、あの方を見かけなくなった」「雨戸が開いているかどうかを見て安否確認をしている」等、住民ならではの気づきを共有し、見守りの輪を広げ、ささえあいのまちづくりを進めています。



### ご近所同士の支えあい「太尾ふれあいクラブ」 大倉山地区

地域のボランティアと高齢者が相互扶助により安心して暮らせる明るい町づくりを目指す有償のボランティアグループです。地区社協、町内会、民生委員、ボランティアが協力して活動を進めています。

地区在住の65歳以上の方を対象に、買い物、草取り、枝払い、掃除、洗濯、ゴミ出し、薬の受け取り、パソコン指導などの家事援助を行っています。困っているときはお互いに支えあい、助けあおうというグループの思いがとどくように日々活動しています。





## 地域活動の取組事例

### ご自宅に近い場所で参加できます！ 「ミニデイサービス」

篠原地区

9つの自治会がある篠原地区。全ての自治会に、行けば顔見知りになれる居場所があります。月1回、集まった皆さんで、お話やお茶を飲んだり体操などをして楽しんでいます。元気だけどバスや電車での外出がおっくうになった方や、家に閉じこもりがちな方が、少しでも外に出て楽しく過ごせる機会となったり、地域で多くの人たちと知り合い、ふれあえる機会となるように取り組んでいます。自宅から歩いていける場所に居場所があることは、いつまでも住み続けたい篠原地区の大きな魅力になっています。



### 高齢者の徘徊を早期に発見する支えあいネットワーク「さがしてネット」 認知症の理解と地域での見守り「認知症サポーター養成講座」

新吉田あすなろ地区

「さがしてネット」は、家族が徘徊（ひとり歩き）に気づいた時、メールアドレスを登録した協力者へ、その方の特徴がわかるメールが発信される仕組みです。協力者の皆さんが外出した際に気にかけてもらい、発見できるようにします。また、認知症理解の啓発効果も期待されます。

「認知症サポーター養成講座」は、身近な地域で認知症の方の手助けをしてくれる方を増やす取組です。新吉田あすなろ地区では、新田中学校の生徒に講座を開催しています。講座を開催することになったきっかけは、生徒が徘徊している高齢者を発見し、学校長から民生委員に連絡が入り、高齢者が無事に自宅へ帰ることができたというエピソードからです。

認知症への理解がつながりを育み、誰もが過ごしやすい街を育みます。



## 重点目標 2

# 災害に備えた要援護者支援の取組の推進

### 目指す姿

日頃から住民同士の顔の見える関係づくりや支援の仕組みづくりが行われ、災害時に要援護者に支援を行う準備ができている。

## 推 進

### 自分や家族 でできること

- ・ハザードマップや拠点訓練などを活用してリスクを把握し、いざという時の対策についてあらかじめ身近な方と話しあっておきましょう。
- ・地域に声をかけあえる知り合いをつくっておきましょう。

### 地域や仲間 同士 でできること

- ・日常的に見守る体制をつくりましょう。
- ・災害時に助けあえる仕組みをつくっておきましょう。
- ・要援護者支援を想定した拠点訓練を実施しましょう。

### 公的機関等 が行うこと

- ・災害時要援護者支援の仕組みづくりの支援を行います。
- ・多様な区民の人権に配慮した避難所運営を支援します。
- ・災害時の医療救護活動やボランティア活動の体制整備を進めます。

## 公的機関等の取組例

### ◆ 救急搬送時や災害時への備え

緊急連絡先、身体・生活状況、治療中の病気などを記載したシートを入れて冷蔵庫で保管しておき、救急搬送時等の際に活用する「救急医療情報キット」を希望者に配布しています。

### ◆ 女性や要援護者の視点を盛り込んだ避難所運営

避難者の中には負傷者、高齢者、障害者、乳幼児など様々な支援の必要な方がいることが想定されるため、多様な避難者に配慮した避難所の運営に向けた支援を行っています。



## 地域活動の取組事例

### 防災から福祉を考える 「災害時要援護者の見守り」

日吉地区

日吉地区では町内会ごとに防災の取組を行っています。近年、地震や台風での被害が大きく、防災・減災への意識の高まりもあり、防災訓練には多くの住民が参加しています。区役所と自治会町内会とが協定を締結し、災害時要援護者名簿の共有についても取組を始めました。また、住民自ら防災と福祉の視点で町あるきを行いマップも作成してきました。自助・公助だけでなく、助けあえる仕組みづくりとしての共助も大切にしています。福祉実践活動発表会「光と活力」では、こうした取組を広く地域の皆さんにお届けしています。



**生活安全安心メモ**

この「生活安全安心メモ」は、皆さんが毎日安全に、安心して暮らせるよう、港北区地域福祉保健計画の推進事業として菊名地区「ひつたプラン」実行委員会が作成しました。日常生活の上で、津波や地震や災害など、もしもの時のためにあなたの情報を記入し、電話機やテレビのそばなど目立つ場所に備えてご活用下さい。

氏名	〒	区	町	丁目	番	号
住所	〒	区	町	丁目	番	号
緊急連絡先	氏名	住所	電話番号	備考		
かかりつけの医師名・病名	氏名	住所	電話番号	備考		

※あなたご自身の担当民生委員は、  
です。連絡先（ ）

### いざという時にも安心 「生活安全安心メモ」

菊名地区

地区に暮らす高齢者に「生活安全安心メモ」を配布しています。メモは、この町で毎日を安全に安心して暮らせるようにと作られました。黄色く目立つ厚紙に、名前、緊急連絡先、かかりつけ医などを記入し自宅の目立つ場所に備えておきます。いざという時に役立つ地区情報（町内会や民生委員・児童委員、老人クラブ、地域活動等）も載っています。実際に使用している方からは「救急隊に生活安全安心メモを渡し正確な情報を伝えられた」「活用はないが連絡先が書いてあり安心」などの声をいただきました。

令和2年の新型コロナウイルスの感染拡大により、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められるようになりました。

人と人が集まって、直接ふれあい、交流する地域活動は、これまでの活動ができなくなるなど大きな影響を受けました。そうした中、地域での話しあいをオンラインで試みる動きもありました。オンライン会議は遠方からでも参加できる、音声のみでも参加できるなどのメリットがあり、参加者の増加や活動の幅の拡大などの可能性があります。

一方で、オンラインでは直接ふれあう良さを実感できないとの声も聞こえてきます。地域活動に求められているのは、イベントなど直接ふれあって交流する楽しさとの調査結果もあります。また、インターネット環境や ICT に関する知識は個人差が大きいことも考慮する必要があります。

地域活動で大切なことは地域のつながりを絶やさないことです。地域活動によるつながりづくりや助けあい、支えあいはオンラインツールを活用するものの、今後も直接ふれあう活動が中心になると考えられます。地域のつながりを守り、活動が継続できるような方法を、考え続けていきましょう。

## 「ひっとプラン港北」策定に関する地域活動調査結果からみえたこと

- ・ 調査概要：第4期「ひっとプラン港北」の策定に際して、新型コロナウイルスによる影響を受けたため、地域活動の現況やまちとのつながりについてインターネットによる調査を行いました。調査の企画・実施に際しては、概ね40歳代の区民の方々と意見交換を行いながら進めました。
- ・ 調査期間：令和2年6月15日から7月26日
- ・ 回答数：362件

### 『地域のつながりの重要性が改めて浮き彫りになった』

「立ち話、近所、公園などでの交流、挨拶が頻繁になった」など対面でのつながりによる安心感についての回答が多く、コロナ禍が地域のつながりの重要性を再認識する機会となっていることが伺えました。

### 『地域行事、イベントへの期待感が地域活動参加の糸口に』

地域のイベントが無くなってさびしい、困っているとの声が多く、地域のつながりづくりに地域活動が担ってきた役割の大きさが改めて感じられました。

地域活動は40歳代から関わっていく傾向があります。今回の結果からはまだ地域活動に参加していない30歳代の地域活動への関心の高さがみられました。関心ある活動としては「地域行事、催事、イベントなど」が挙がっています。

### 『オンラインなど新たなツールによるつながりの可能性はこれから』

オンラインによってつながる経験は多くの方が持っていました。分析の結果オンラインの利用はご近所の付き合いの深さに影響を与えてはいませんでした。

今回のアンケートについては40日間で362件の回答結果を得ることができました。年齢別でも60歳、70歳代の回答者が2割を占め、今後の地域活動にオンラインを活用していく可能性が示されました。



## 子ども × 大学生 × 地域 みんなで力をあわせてオンライン学習会 ～ 師岡子ども学習会 ～

師岡地区

師岡地区では、地区の小学生を対象に月1回「師岡子ども学習会」を行っています。大学生のボランティアが勉強を教える「学びの時間」、工作やちょっとした実験など工夫をこらしたプログラムで子どもたちの興味をひき出す「みんなの時間」で構成されているのが特徴です。

新型コロナウイルスの影響で自粛が続く中でも「できるだけ今まで通りの生活を」と、大学生ボランティアや地域の運営スタッフが協力しオンラインでの学習会を行いました。今後も地域の子どものために活動を続けていきます。



### ワードパズル③

	あ	い	う	
	な		つ	
		お		
			ぶ	
				し

- 暑い季節に盆踊りとかするよ。
- 赤ちゃんに生える細かい毛。
- お金を貸した見返りにもらうお金。
- みんながいま住んでいる都道府県は。
- フランスの首都。
- シューベルトがつくった有名な歌曲。
- 海のお魚で、てりやきがおいしい。
- 一年で最も一番長い日。
- みそ汁のだしに使ったりする。
- きゅうりやスイカ、ひょうたんなどの総称。

## 暮らしを支えるボランティア「ほっと新吉田」

新吉田地区

第1期地区計画を検討する際、地域に必要な取組として立ち上がったのが「ほっと新吉田」です。高齢や病気などが原因で生じる公的なサービスや制度ではまかなえない、暮らしの中でのちょっとした困りごと（薬の受け取り、散歩など外出の付き添い、草取り等）を受け止めるボランティアとして対応してきました。

新型コロナウイルス感染拡大中でも（一部の活動は休止しつつ）ゴミ出しのサポート等、生活に必要な支援は、しっかりと感染予防対策をしながら継続。活動が始まった頃から時間がたち、まわりの環境や活動内容は少しずつ変化しても「助けあい・支えあい」の心は色あせず、今日もどこかでまちの助っ人として活躍しています。

